

エン・ジャパン ITER 国際核融合エネルギー機構の公募支援開始！

職種は「環境保全エンジニア」「防火責任者」などの5ポジション。
ITER計画を成功に導く専門人材を募集。

エン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）は、2023年10月5日（木）より、ITERの『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』を開始しました。当社が運営する採用支援サービスを通じ、5職種における公募を支援します。下記、本プロジェクト概要と、ITER日本国内機関 ITERプロジェクト部 部長 井上氏のコメントを紹介します。



特設ページはこちら⇒ https://www.enjapan.com/project/iter_2310/

プロジェクト概要

太陽が莫大なエネルギーを生み出す仕組み「核融合反応」。これを地上で再現し、新しいエネルギー源としての活用を目指すのが「ITER（イーター）計画」です。日本のほかに、EU、米国、韓国、中国、ロシア、インドがこの超大型国際プロジェクトに参画しており、フランスのサン・ポール・レデュランスにて、人類初の巨大核融合実験炉「ITER」の建設・組立が進められています。

日本は膨大な資金を投資している一方で、ITER計画に参加している日本人職員は約40名。全職員のわずか4%にとどまり、理想の人員数と大きくかけ離れているのが現状です。ITER計画を成功に導くため、そして核融合の知見を日本に持ち帰り、国内での実用化を実現させていくためにも、「日本代表」をさらに増やすことが重要になります。

今回、ITER機構は新たに5職種の公募を実施することになり、エン・ジャパンは『エン転職』『AMBI』『ミドルの転職』といった求人サービスを通じて募集をサポート致します。応募者の方はITER日本国内機関（量子科学技術研究開発機構）による、英語の応募書類添削や面接対策といったサポートを受けることも可能（要ITER職員公募会員登録）。世界を舞台に活躍し、新エネルギー開発に貢献していただける方からのご応募、お待ちしております。

募集要項

・募集職種：

(1) Fire Protection Coordinator (防火コーディネーター)

核融合実験炉トカマクの防火をはじめ、原子力安全、労働安全を包括する防火システムの構築に関する戦略をつかさどるポジション。

(2) Fire Protection Responsible Officer (防火責任者)

「Fire Protection Coordinator (防火コーディネーター)」の責任者。

(3) Data Management Section Leader (データ管理セクションリーダー)

統合エンジニアリングデータ管理に関連したITに係る業務の開発、実施、管理の責任者。

(4) Environmental Protection Engineer (環境保全エンジニア)

ITERに適用される環境に関する規定のモニタリング/更新、サイト内の環境分析の実施と監査や検査等関係者への説明対応を行なうポジション。

(5) Quality Engineer (品質エンジニア)

重要品質活動が品質と安全の定義された要件を満たすように、調査及び検証のための調整、立ち合いを行なうポジション。

・応募受付サイト：『AMBI』『ミドルの転職』『エン転職』

・応募受付期間：『AMBI』『ミドルの転職』2023年10月5日(木)～2023年11月2日(木)
『エン転職』2023年10月19日(木)～2023年11月2日(木)

・特設ページ：https://www.enjapan.com/project/iter_2310/

<ITER職員募集セミナー・クイックレッスン・応募支援について>

一人でも多くの日本人職員がITER機構で活躍できるよう、希望者には、ITER職員公募会員登録制度を通して、公募情報の案内、応募書類添削、応募者へのトレーニングなどの支援を行っています。その一環として、10月13日(金)には「ITER職員が語る！ITERで働くこと 渡仏後の子供の教育」と題したセミナーを開催します。ITERと日本をオンラインでつなぎ、現役のITER日本人職員3名が登壇しながら、ITER職員のやりがい・専門としている業務内容や、親としてフランスでの子供の教育をどのように行っているのかについて語ってまいります。生の声が聞け、チャットで質問もできる機会です。ぜひご参加下さい。

URL：<https://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/seminar.html>

ITER日本国内機関(量子科学技術研究開発機構) ITERプロジェクト部 部長 井上多加志氏コメント



ITER機構では、世界35ヶ国から1,000名以上の職員が、平和的目的のための核融合エネルギーの科学的及び技術的な実現性可能性を証明する、という1つの目的に向かって、国籍の壁を飛び越えて協力しています。

ITER機構は必要な職員をITER計画の参加国から公募しており、日本からも40名程度が職員として活躍しています。さらに多くの職員を日本から送り出し、核融合エネルギー開発を成功に導き、将来の日本の核融合エネルギー開発を担う人材として、一人でも多くの皆様にITER機構で活躍していただきたいと願っています。

核融合エネルギー開発に興味のある方、核融合を通して地球の環境問題に取り組みたい方、挑戦志向の方、世界・国際機関を舞台に活躍したい方など、皆様のご応募をお待ちしております。

本プロジェクトにおける当社支援サービス

プレスリリースや特設ページ、Web広告での告知に加え、各求人サイトでの集客支援を実施。『エン転職』『AMBI』『ミドルの転職』とターゲットの異なる求人サイトを活用することで、ターゲットへ網羅的に求人を届けます。



『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』とは



社会的インパクトの大きな採用を全社横断で支援する一大プロジェクト。中央省庁の幹部候補、地方自治体の副市長・DXを担うデジタル人材、国際NGOの職員など、様々な採用を通じて社会課題の解決に貢献しています。

<https://www.enjapan.com/>

プロジェクト参画のご相談、取材・セミナーの登壇依頼などお気軽にお問合せください。
担当：中林 TEL：03-3342-6590 / MAIL：social_impact@en-japan.com

本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

ソーシャルインパクト採用プロジェクト担当：清水、高田、齊藤

<https://www.enjapan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL：03-3342-6590 MAIL：social_impact@en-japan.com

※プロジェクト参画のご相談、取材・セミナーの登壇依頼などお気軽にお問合せください。